

# バスの床下（部品）の防錆メンテナンス実施のお願い

## ～防錆メンテナンスの注意点と事例の紹介～

標記の件、2015年に弊社ホームページにて『「トラックのシャシ(部品)、バスの床下(部品)の防錆メンテナンス実施」のお願い』([http://www.isuzu.co.jp/oshirase/index\\_2015.html](http://www.isuzu.co.jp/oshirase/index_2015.html))をご紹介しておりますが、防錆塗料や防錆ワックスの塗布前のさび除去不足や、袋構造部材の水抜き経路の閉塞等の要因により腐食が進行し、故障に繋がった事例が報告されています。

以下に注意点と具体的な事例を紹介しますので、今後の防錆メンテナンスの実施にご活用をお願いします。

—記—

### 注意点と事例の紹介

#### **【注意点1】 防錆メンテナンスを実施する前に、必ずさびを除去してください。**

さびを除去せずに塗装した場合、塗装箇所の内部で腐食が進行し著しい減肉や穴あきが生じる可能性があります。

…事例① LV7型車ガーラ 塗布前のさび除去不足による減肉・穴あき

#### **【注意点2】 隠れた部位（フェンダーカバー裏側等）を点検してください。**

カバー類に穴あきが生じた場合、カバーによって隠れた部位（内部）にあるブラケットや取付け部等にも泥や凍結防止剤等が付着して腐食が進行します。カバー内部に防錆メンテナンスを実施しないままカバーのみを補修した場合、カバー内部で著しい減肉や穴あきが生じても見落としてしまう恐れがあります。

…事例② LV7型車ガーラ リヤフェンダーカバー内のエアサス取付けブラケット腐食

#### **【注意点3】 水抜き経路を点検してください。**

袋構造部材は水が抜ける構造になっていますが、泥や凍結防止剤の付着や追加アンダーコート等により水抜き経路が閉塞すると、内部から腐食が進行して減肉や穴あきが生じる恐れがあります。

…事例③ LV7型車ガーラ リヤトルクロッド取付け部の袋構造部材の水抜き経路閉塞

…事例④ LR2型車エルガミオ フロント右トルクロッド取付け部の袋構造部材の水抜き経路閉塞

…事例⑤ LV7型車ガーラ ビームアセンブリの水抜き経路閉塞

### その他

LV7型車スーパークルーザー/ガーラの防錆メンテナンスを実施いただく際には「ショックアブソーバー取付け部」の点検も確実に実施をお願いします。

内容につきましては、弊社ホームページの『大型観光バス(LV7型車)ショックアブソーバー取付け部の点検方法についてのお知らせ』(<http://www.isuzu.co.jp/oshirase/160826.html>)をご参照ください。

## 事例①

LV7 型車ガーラにて、防錆塗装や防錆ワックスの内側で腐食が進行し、構造材の減肉や穴あきが生じた。



**【注意点】防錆メンテナンスを実施する前に、必ずさびを除去してください。**

層状になったさび（叩けば落ちるようなさび）は必ず落としてください。その他のさびを完全に除去するのが難しい場合は、防錆ワックスを使用してください。

外面用推奨ワックス：パーカー興産製 RUSTOP 307（浸透剤）+RUSTOP HBY（外面用）  
（注：チップングが当たるホイールハウス内のような部位には適しません）

（参考）

弊社ホームページ（[http://www.isuzu.co.jp/oshirase/index\\_2015.html](http://www.isuzu.co.jp/oshirase/index_2015.html)）の記載内容

点検項目	点検方法	補修の判断基準	補修要領
外観のさび ・表面さび ・塗装の浮き上がり（フクレ） ・塗装の剥れ	・目視 ・さびの進行状況は点検ハンマーで叩いて確認 ※1	・目視で、さびがある場合。 ・塗装、アンダーコートに浮き上がりや剥れがある場合。	1) 洗浄、乾燥後にワイヤブラシなどで素地がでるまで、さびを除去。 2) さび除去面の脱脂 3) 周辺のブレーキ部品、電装品などをマスキングし、防錆塗料を塗布。
アンダーコート ・亀裂（割れ） ・剥れ	・目視	・アンダーコートの表面に亀裂（割れ）がある場合。 ・アンダーコートに浮き上がりや剥れがある場合。	1) 損傷したアンダーコートを実際に除去した後、表面を洗浄して異物を取り除く。 2) 温風で乾燥後、アンダーコートを塗布。

### (3) -1 防錆塗料や防錆ワックス 塗布前の準備

① " シャシ" の洗浄

② さびの除去

ワイヤブラシなどで完全に除去してください。

（さび、その他付着物を完全に除去し、金属面を露出させる）

③ さびを除去した箇所の洗浄・乾燥

さび除去部の洗浄後、エアブローで水を飛ばし、温風で十分に乾燥してください。

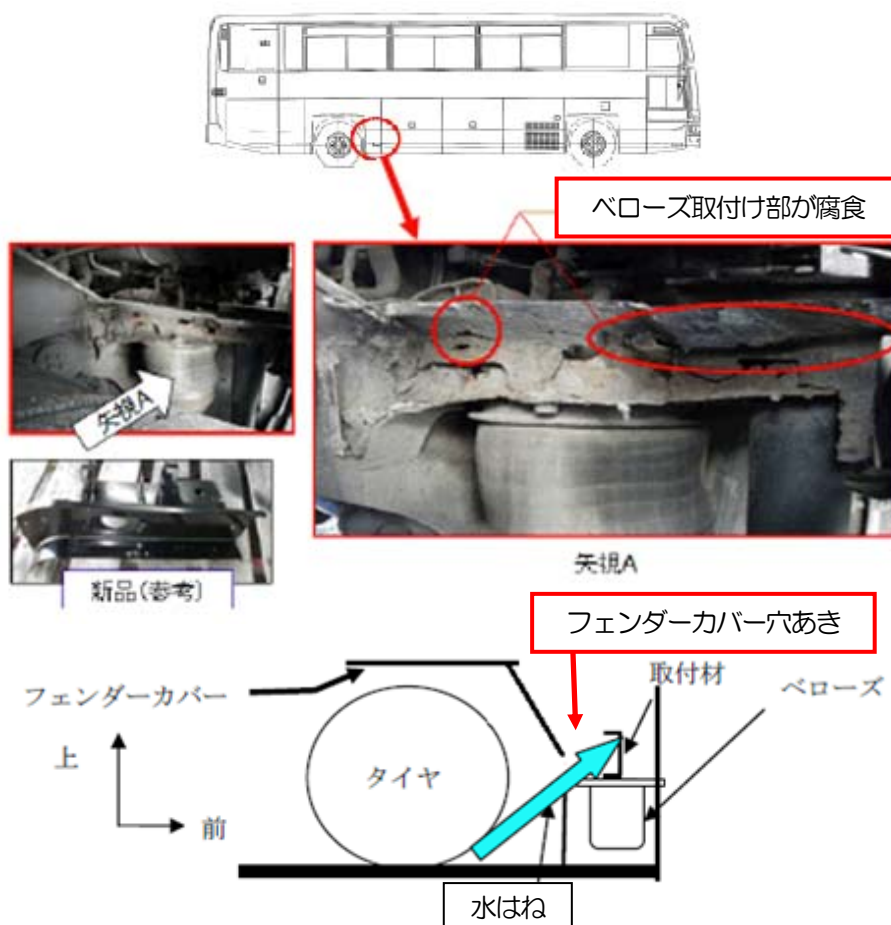
④ 脱脂（付着油分の除去）

⑤ マスキング

防錆塗料や、防錆ワックスの塗布で悪影響がでる装置・部品にはマスキングを確実に行ってください。

## 事例②

LV7 型車ガーラにて、過去にフェンダーカバー穴あきによりタイヤから跳ね上げられた水等がエアースパションペローズ取付け部にかかっていたため、腐食が進行して車体が傾いた。フェンダーカバー穴あきを発見した際は、フェンダーカバーのみを補修していた。



**【注意点】** 隠れた部位（フェンダーカバー裏側等）を点検してください。

エアースパション取付け部は、3か月毎の点検項目です。必ずフェンダーカバーを外して点検してください。なお、フェンダーカバーに穴があいていた場合は、カバー内部の防錆メンテナンスを実施していただくとともに、フェンダーカバーを補修してください。

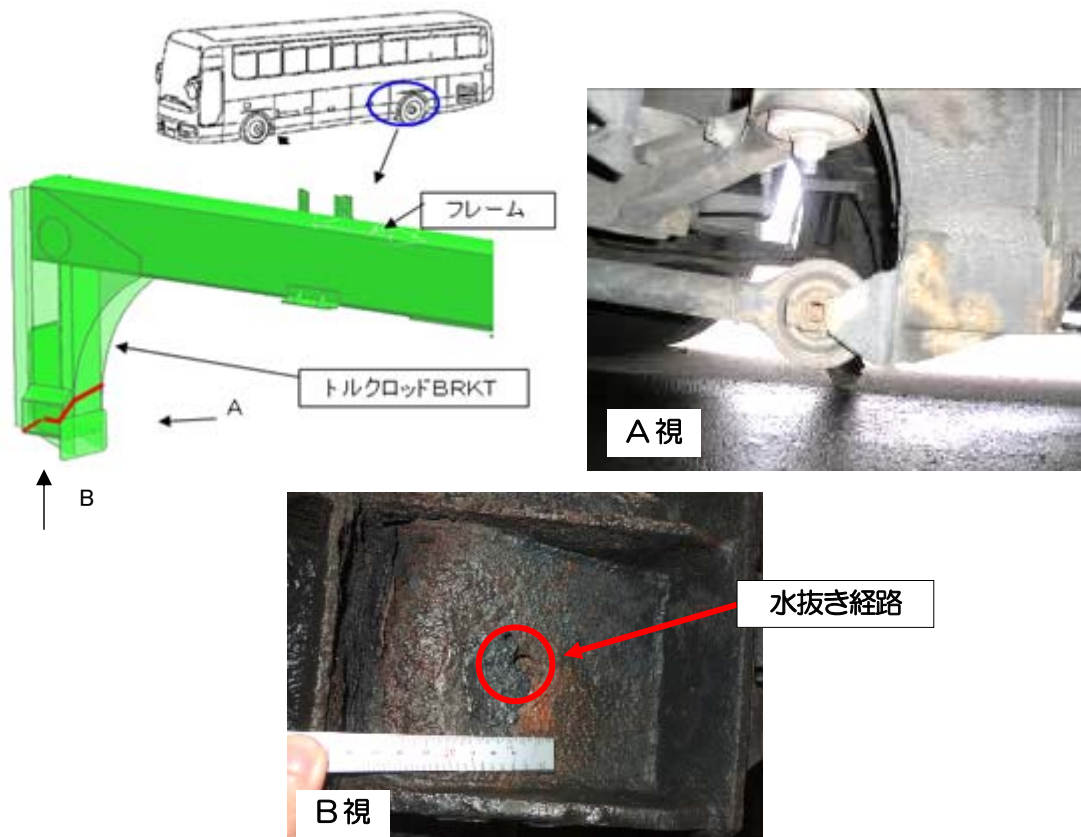
(参考)

弊社ホームページ ([http://www.isuzu.co.jp/oshirase/index\\_2015.html](http://www.isuzu.co.jp/oshirase/index_2015.html)) の記載内容

対象部位	点検項目	点検要領	腐食程度	補修作業内容
各種ブラケット 本体、取付部	<ul style="list-style-type: none"> <li>外観さび状態</li> <li>腐食穴明き</li> <li>欠落</li> <li>亀裂など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外観目視</li> <li>点検ハンマー叩き</li> </ul>	外観さび程度	さび除去後、防錆塗料または、防錆ワックスを塗布
			腐食による板厚減少、穴あき、欠損	ブラケット交換

### 事例③

LV7 型車ガーラにて、リヤトルクロッドブラケットが取付いている袋構造部材の水抜き経路が閉塞し、内部から腐食が進行して減肉したため亀裂が発生してトルクロッドブラケットが外れた。



#### 【注意点】水抜き経路を点検してください。

水抜き経路が閉塞している場合は、水抜き経路を貫通させてください。(構造部材の水抜き経路が閉塞している場合、同径ドリル等で穴を貫通させてください。) 水抜き経路が閉塞していた場合や水抜き経路からのさび汁垂れが認められた場合は、何らかの要因で内部の腐食が進行していますので、3か月毎の定期点検時に亀裂有無を点検されることをおすすめします。リヤトルクロッドブラケットが取付いている袋構造部材に亀裂が認められた場合や点検ハンマーで叩いたときに音が響かない場合は、袋構造部材の補強・補修が必要です。(補強・改修方法については、最寄りのいすゞ販売店にご相談ください。)

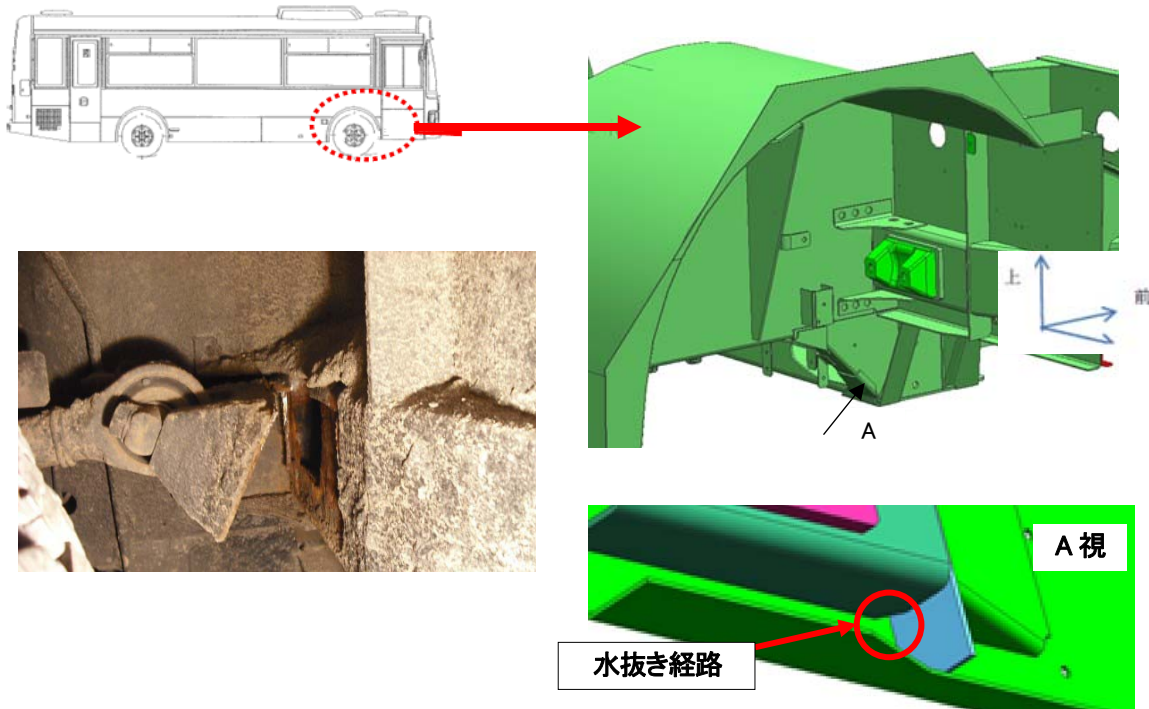
(参考)

弊社ホームページ ([http://www.isuzu.co.jp/oshirase/index\\_2015.html](http://www.isuzu.co.jp/oshirase/index_2015.html)) の記載内容

点検項目	点検方法	補修の判断基準	補修要領
バス ・角チューブ及び袋構造部材の水抜き穴からのさび汁	・目視 ・さびの進行状況は点検ハンマーで叩いて確認 ※1	・水抜き穴から、さび汁が垂れている場合。	1) 水抜き穴をエアブローし、内部の水分を除去する。 2) 内面に防錆ワックスを塗布。

#### 事例④

LR2 型車エルガミオにて、フロント右トルクロッドブラケットが取付いている袋構造部材の水抜き経路が閉塞し、内部から腐食が進行して減肉したため亀裂が発生して、トルクロッドブラケットが外れた。



#### 【注意点】水抜き経路を点検してください。

水抜き経路が閉塞している場合は、水抜き経路を貫通させてください。水抜き経路が閉塞していた場合や水抜き経路からのさび汁垂れが認められた場合は、何らかの要因で内部の腐食が進行していますので、3か月毎の定期点検時に亀裂有無を点検されることをおすすめします。

フロント右トルクロッドブラケットが取付いている袋構造部材に亀裂が認められた場合や点検ハンマーで叩いたときに音が響かない場合は、袋構造部材の補強・補修が必要です。

(補強・改修方法については、最寄りのいすゞ販売店にご相談ください。)

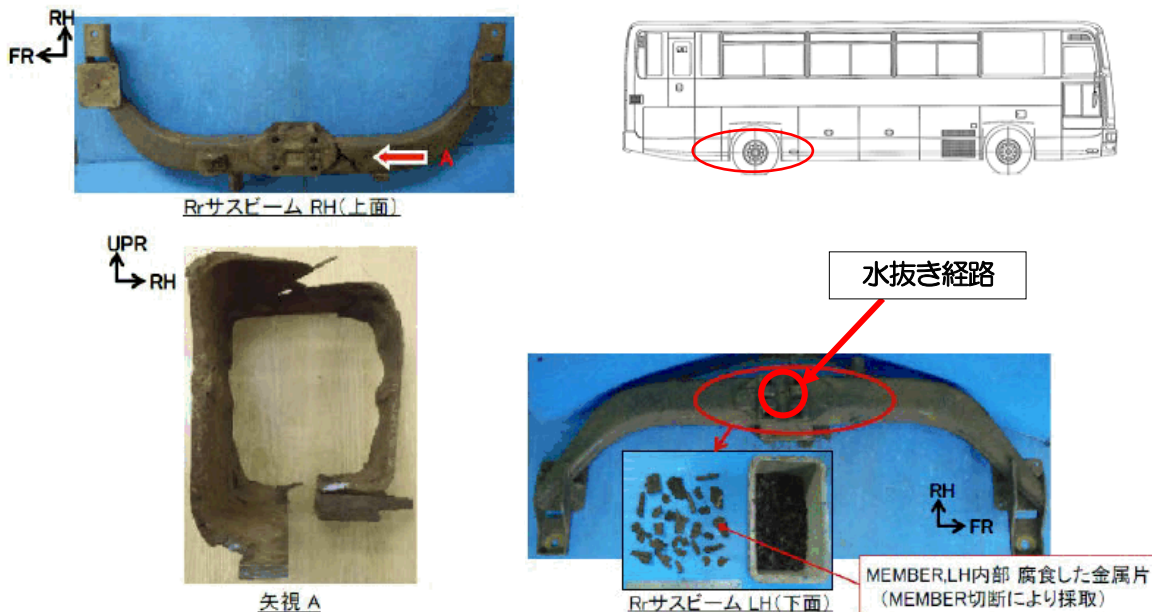
(参考)

弊社ホームページ ([http://www.isuzu.co.jp/oshirase/index\\_2015.html](http://www.isuzu.co.jp/oshirase/index_2015.html)) の記載内容

点検項目	点検方法	補修の判断基準	補修要領
バス ・角チューブ及び袋構造部材の水抜き穴からのさび汁	・目視 ・さびの進行状況は点検ハンマーで叩いて確認 ※1	・水抜き穴から、さび汁が垂れている場合。	1) 水抜き穴をエアブローし、内部の水分を除去する。 2) 内面に防錆ワックスを塗布。

## 事例⑤

LV7型車ガーラにて、リヤビームアッセンブリ（袋構造部材）の水抜き経路が閉塞し、内部から腐食が進行して減肉したためビームの上部に亀裂が発生した。



### 【注意点】水抜き経路を点検してください。

水抜き経路が閉塞している場合は、水抜き経路を貫通させてください。水抜き経路が閉塞していた場合や水抜き経路からのさび汁垂れが認められた場合は、何らかの要因で内部の腐食が進行していますので、3か月毎の定期点検時に亀裂有無を点検されることをおすすめします。

リヤビームアッセンブリに亀裂が認められた場合や点検ハンマーで叩いたときに音が響かない場合は、部品交換が必要です。

(参考)

弊社ホームページ ([http://www.isuzu.co.jp/oshirase/index\\_2015.html](http://www.isuzu.co.jp/oshirase/index_2015.html)) の記載内容

No.	部位	対象装置 (部品)	点検項目	点検要領	腐食程度	補修作業内容
1	アクスル廻り	本表下の 一覧参照 (当該部品と その取付部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観さび状態</li> <li>・腐食穴明き</li> <li>・欠落</li> <li>・亀裂など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観目視</li> <li>・点検ハンマー叩き</li> </ul>	外観さび程度	さび除去後、防錆塗料または防錆ワックスを塗布
2	ステアリング関係	本表下の 一覧参照 (当該部品と その取付部)			腐食大、板厚減少、小さな穴あき、大きな穴あき、欠損	部品（アッセンブリ）交換

袋構造部用推奨防錆ワックス：パーカー興産製 RUSTOP307（浸透剤）+RUSTOP 7703BJ（袋構造部用）

以上